

<別紙>

Chromebook の充電について

札幌市立あやめ野中学校

Chromebook をご家庭へ持ち帰った（学校から貸し出しした）場合、充電アダプタは学校の充電保管庫に固定されており、貸し出しができないため、本体のみを持ち帰ることになっております。Chromebook は充電せずに約 10 時間使用可能ですが、翌日も学校で使う場合など、基本的にはご家庭での充電が必要となります。

持ち帰った Chromebook の充電のため、充電器は各家庭にあるものを利用するか、新たに準備していただくこととなります。

ご家庭に対応した充電器等が無い場合、新たな金銭的負担をお願いすることにもなり申し訳ございませんが、今後長く使用すること、100 円ショップなどでも購入可能なことを踏まえ、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

<Chromebook を充電するためには>

- ◆ Chromebook を充電するコネクタは「USB Type-C」という種類のものです。
Chromebook には左右に一つずつ Type-C ポートがあり、どちらでも充電ができます。
- ◆ スマホやノート P C、ゲーム機の充電器が「USB Type-C」の場合、Chromebook を充電することができます。
- ◆ ニンテンドースイッチの充電器も「USB Type-C」ですので、Chromebook を充電できます。
- ◆ パソコンの USB ポートや一般的な USB アダプタ等に、「USB Type-C」のケーブルを挿しても、低速ですが充電できます。
- ◆ 充電開始されると、小さな LED ランプが点灯します。（左側面にあり。下図参照）
- ◆ 「USB Type-C」について、詳しくは以下の画像や裏面の資料でご確認ください。



↑充電時は LED ランプが点灯



↑ Chromebook の充電ポート



↑ Chromebook の充電ケーブル
(Type-C コネクタ)

【参考】「USB Type-C」による充電についての詳細

USB Type-C は、2015 年から登場した、上下左右を対称の形にした USB コネクタです。現在、Android スマートフォン（iPhone ではないスマホ）や、タブレット、ゲーム機、一部のノートパソコンなどに広く使われている端子で、それらの充電器が「USB Type-C」端子の場合、基本的には Chromebook を充電することができます。



↑スマートフォンの
Type-C 充電器の例



↑ニンテンドースイッチの充電器



↑iPhone で使われる
「Lightning」端子

※この端子ではクロームブックを充電できません

また、ゲーム機の「ニンテンドーSwitch」があれば、Switch の充電器で Chromebook を充電できます。iPhone の充電ケーブルの端子は「Lightning」という別の規格ですので、Chromebook を充電することはできません。

ご家庭で新しく用意する場合は、「USB Type-C」の充電器か、「USB Type-C」のケーブルを買い、一般的な USB 充電用のアダプタで充電することもできます。それらは 100 円ショップでも購入可能なものもあります。



↑低速充電できる
USB Type-A の充電器の例



↑低速充電できる
Type-A — TypeC のケーブルの例

ただし、「USB Type-C」という規格は厄介な面があり、見た目は同じでも充電する電圧や電流の種類がたくさんあります。そのため、充電する機器やケーブルによって充電速度が変わってしまいます。

Chromebook はスマートフォンよりも消費電力が大きいため、「急速充電」(USB-PD) が可能な充電器でないと、「使用しながらの充電」ができません。(5V の充電器を利用した場合など)

その場合、コネクタを挿すと、右図のような警告が表示されます。この状態でも、Chromebook を閉じて充電すれば、ゆっくりですが充電されます。夜間に充電するなどしてご利用下さい。

ニンテンドースイッチの充電器は急速充電に対応していますので、利用しながらの充電ができます。

